

学力向上に向けた取組

函館市立東山小学校

1 課題

- ・校内研究の充実
- ・教師の授業力アップ

2 課題解決の具体策

- ①研究体制の改善と校内研究会の充実
- ②全員授業の実施

3 取組の概要

①について

本校では過去3年間の研究で「確かな学力と豊かな心をはぐくむ学びの創造～自ら学び、自ら考え、豊かに表現する子の育成を目指して～」に取り組んできた。一定の成果は見られたものの、学力調査の結果からも「国語」と「算数」の基礎・基本の徹底が必要という課題が残された。

そこで、本年度から、「確かな学力をはぐくむ学びの創造」という、これまでの主題は残しつつ、「自ら考え、伝え合い、ともに学び合う子の育成を目指して」というサブテーマを設定し、教科を「国語」と「算数」に絞り、基礎基本の徹底を図ることにした。

国語・算数と二つの部会で指導案検討を行い、それぞれの部会毎に事前研を実施しながら授業を公開し、外部講師（指導主事）を招聘し、豊富な資料を提示していただき指導改善のポイントについて学び高めあった。

②について

公開授業だけではなく、「略案授業」という形で全員がそれぞれ授業を公開し合い、お互いの授業を参観、批評し合う中で、それぞれの力量アップを目指した。

4 成果と課題

- 国語部会、算数部会と縦割りにすることで、本校の研究に一本の柱ができ、全学年を通して、同じ視点で教材研究の取り組みができた。
- 全員授業を通して、活発に授業改善の方法について話し合うことができた。
- 初めての縦割りの部会で、授業評価の視点の設定に難しさがあった。